



一度は乗りたい！

憧れる豪華列車



1年 1組 showa

◎はじめに…

『豪華列車』それは、鉄道が好きな方はもちろんのこと、もし心の中で「鉄道？興味ないねえ…」とか、「この頃乗り換え難くなったし、ヤダー！」なんて普段は思っていたとしても、人生に一度は乗ってみたいと夢見る列車ではないだろうか。今回はそんな全国に多数存在する、いわゆる豪華列車の中から、個人的に選んだトワイライトエクスプレスを取り上げ、紹介したいと思う。

◎トワイライトエクスプレス

やはり豪華列車と聞くとこれが一番に思いつくという方がほとんどだろう。トワイライトエクスプレスは、運行開始当初から、日本で運行区間が最長で始発駅の大阪駅を正午前の11時台に発車して、終点の札幌駅には翌日の9時ごろに到着するという約一日の列車の旅で有名だ。



☆停車駅

停車駅	大阪	新大阪	京都	敦賀	福井	金沢	高岡	富山
下り	11:50	11:55	12:25	13:48	14:40	15:40	16:14	16:31
上り	12:52	12:48	12:18	10:52	9:56	8:51	8:18	8:03
直江津	長岡	新津	洞爺	東室蘭	登別	苫小牧	南千歳	札幌
17:59	18:58	19:39	7:18	7:54	8:12	8:50	9:11	9:52
6:27	5:29	4:40	16:33	15:50	15:34	15:00	14:39	14:05

ご覧の通り、新潟県の新津駅から北海道の洞爺駅との間の客の乗り降りには行われず、JRの旅客列車では時刻表の上での通過距離・時間が最も長い列車。通過距離は下り列車が768.3km、上り列車が781.1km。通過時間は下り列車で11時間39分、上り列車は12時間もかかる。

## ☆車内サービス

### ➤ランチタイム(大阪発)、ティータイム(札幌発)

大阪発は正午前の11時台となるため、13時から16時まで「ランチタイム」としてランチメニューを提供している。なお大阪発は、朝昼夕3食全てを提供する、日本でも数少ない列車でもあった。札幌発は発車が14時台と大阪発に比べて遅いため、14時40分から16時まで「ティータイム」としてス



イーツとコーヒー・紅茶程度のみ提供していた。これらとは別に、2014年5月1日より数量限定ながら、ルームサービスにより弁当を提供している。

### ➤ディナータイム

17時30分から21時まで、夕食時間帯は「ディナータイム」としてフランス料理のコースを提供している。事前の予約定員制で、乗車日の5日前の23時までにみどりの窓口と旅行センターおよび主な旅行会社などで食事券を購入しないと食べられない。1回目は17時30分から19時、2回目は19時30



分から21時まで、予約の際にどちらかを指定するが、予約が集中して希望街ということもしばしば。この他、フランス料理のコース同様に5日前の23時までの予約申し込み制で『日本海会席御膳』も提供していたが、こちらは食堂車内で食べることはできず、係員によるルームサービスでの提供だった。

### ➤パブタイム

ディナータイム終了後の21時から23時まで、主に軽食類を提供する「パブタイム」の営業時間帯となっている。ピラフやパスタの他に、ビールやワインなどのドリンク類、但馬高原鶏のから揚げやスモークサーモン・ミックスマツツといったおつまみを提供していた。予約は不要で、すべての乗客に利用可能。



### ➤モーニングタイム

大阪発は 6 時から、札幌発は 6 時 45 分から、それぞれ 9 時までは「モーニングタイム」となっており、朝食を提供している。45 分刻みの定員制であり、希望者は乗車後に車内で利用時間を予約することになっていた。かつては和食・洋食が選択できたようだが、2013 年 4 月 1 日以降はブレックファーストメニューとして洋食に統一された。また、このタイミングでは、下りの場合すでに北海道を走行中である。



### ☆客室

最高級の 2 人用スイートルームから、気軽に利用できる 2 段式の B 寝台まで多彩な客室が揃っている。夫婦や恋人同士からグループ旅行、そして一人旅まで、お好みの客室が選べるはうれしいのではないだろうか。

#### ➤A 寝台(スイート)



1 号車の車端(1 号車 1 番)と 2 号車の中央(2 号車 3 番)に 1 室ずつ設けられた 2 人用の個室寝台で、室内にはツインベッドに 2 人分のソファ、液晶テレビ、オーディオサービス、冷蔵庫、シャワールーム、トイレなどを完備し、日本でも屈指の設備を誇るプレミアムルームである。たった 2 部屋のみなので、発売と同時にチケットが完売することも珍しくな

く、早めの旅行計画と予約が必要だ。

#### ➤A 寝台(ロイヤル)



1・2 号車に 4 室ずつ設置された 1 人用 A 個室寝台。ソファ兼ベッドと、シャワー、トイレを完備して、まさに走るホテルのよう。シートは、昼間はソファ、夜はベッドとして利用できる。スイートと同様にウエルカムドリンクやアメニティキット、朝刊のサービスも。プラス 9540 円(寝台料金)で 2 人での利用も OK で、それも魅力の一つ。

➤B寝台(シングルツイン)(ツイン)



5・6号車に6室ずつ設置された1人用B個室寝台がシングルツイン。昼間はソファ、夜間はベッドになるシートが備えられ、天井部にはエキストラベッドがあるので2人での利用も可能。部屋は通路を挟んで3室ずつ並んでいて、日本海側の景色が綺麗な部屋はB-8～10番。2人用B個室寝台のツインは5・6号車に7室ずつ、7号車に9室。上下2段のベッドが備えられ、昼間は下段ベッドが2つのソファになる。

➤B寝台(Bコンパート)



上下2段の開放形B寝台が向かい合った部屋に扉が付いた簡易コンパートメントルーム。4人グループでの利用にはとても適する。もちろん1人での利用も可能。トワイライトエクスプレスでは最もリーズナブルな寝台で、8号車が禁煙、9号車が喫煙車両である。

☆運行終了...

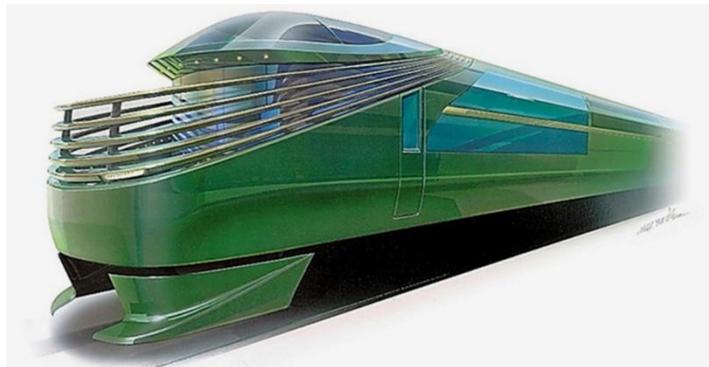
ここまで多くの魅力を紹介してきたトワイライトエクスプレス、ニュースを見てご存知かもしれないが、今年の3月12日の昼に大阪と札幌を発車して、翌13日大阪、札幌着の列車をもって運行を終了した。なんとその最終運行日の乗車券は、発売後数秒で売り切れるほどの人気具合だったようだ。なぜ廃止してしまうのかと鉄道ファンの誰しもが疑問に思ったわけだが、運行終了の理由としてJR西日本は、車両の老朽化とともに、北海道新幹線の開業時に青函トンネルの電圧が変更されることや、新幹線を並行して走る在来線がJRから第三セクターへ移管されることなどをあげた。それならば、今はもう運行していない列車なのにどうしてこれを取り上げたのかと疑問を感じる方もいるかとは存じるが、表題にも掲げたように「一度は乗ってみたい」...でも乗れなかった...というわけで、今はすでに運行していないが、どうしてもその魅力を伝えたかったのだ。

でもJRさんもいろいろ考えるもので、な、なんと「トワイライトエクスプレス」の名を継ぐ豪華列車が、早くも2017年春にも誕生するというのだ！

長くなってしまっているが、そちらも紹介したい。

#### ☆「トワイライトエクスプレス瑞風」

瑞風とはみずみずしい風のことであり、吉兆を表すめでたい風という意味も合わせ持つ。「瑞穂の国」と呼ばれる美しい日本に、新しいトワイライトエクスプレスという風が幸せを運んでくる、そんな情景がイメージ



された名前のようなものである。冒頭に載せたエンブレムは、MIZUKAZE の“M”を山並みに見立てて、吹き抜けていく風をトワイライトエクスプレスの象徴である天使で表現されている。走行するのは、京阪神、山陰エリアで、豪華列車としてさらなるグレードアップをしている。その客室は2ランクで、低い方のランクが、A寝台のスイートぐらいである。こちらはかなり値が張るが、一生のうちに一回は乗ってみたいものだ。

#### ☆最後に

少しくどい紹介になってしまったかもしれないが、列車好きではなくても長時間退屈せず楽しめる、そんな豪華列車の魅力は伝えられたかと思う。もし、列車にそんなに長時間乗ってられない、と思っている方がいたら、ぜひこの機会に豪華列車に興味を持っていただきたい。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

#### ☆参考文献

「寝台特急トワイライトエクスプレスの停車駅と時刻表」

(<http://twilight.rp35.com/06.html> 2015年9/11閲覧)

「TWILIGHT EXPRESS瑞風」

(<http://twilightexpress-mizukaze.jp/> 2015年9/10閲覧)

「初めての寝台列車」

([http://www.toretabi.jp/travel/shindai\\_vol03/01.html](http://www.toretabi.jp/travel/shindai_vol03/01.html) 2015年9/13閲覧)

「トワイライトエクスプレス」

(<http://www.jwfsn.com/twilight/> 2015年9/11閲覧)

『さよなら! 「北斗星」「トワイライトエクスプレス」』(宝島社 2015)